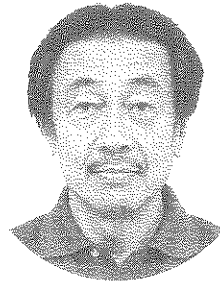


従事者部会よりお礼申し上げます

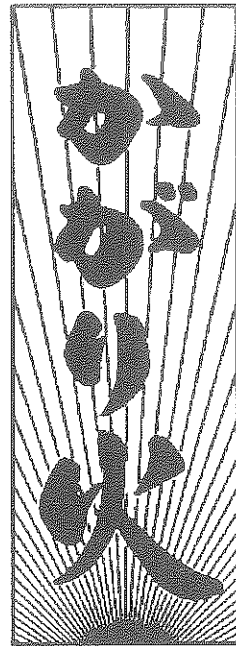
従事者部会では毎年、さまざまな講演会や研修会を開催させていただいております。

また、当部会に対する深きご理解・ご支援のお陰をもちまして、毎回多数の従事者の皆様にお集まりいただき、厚くお礼申し上げます。これからも「参加して良かった」という感想をいただけるように鋭意努力して参ります。

昨年度は、大阪民間社会福祉事業従事者共済会様と共催して「子育ての話を聞きに来ませんか」と題した講演会を開催いたしました。講師にはタケカワ



従事者部会長
竹田 功



発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉協議会センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 竹田 功

ユキヒデ氏をお招きし、自身の子育て経験をもとにした講演を開催させていただきました。

当日は、タケカワ氏のほか社会的養護の立場からファミリーホーム「やわらぎの家」寮長の石井勲さん、大阪里親連合会中央支部「ひまわり会」平山幸子さんより、それぞれの立場からお話をいただき、参加された皆様は、色々な子育ての現状について耳を傾け、そのご苦労について感心されておられました。下段で参加されました方々の声を紹介させていただきます。

今回のような共催事業としての講演会・研修会については、共済会様の事業計画に毎年盛り込んでいただけることになり、たいへん心強く感じています。従事者部会として心より感謝申し上げます。

「子育ての話を聞きに来ませんか」講演会

参加者アンケートより

12月11日に新規事業として大阪府社会福祉会館で、大阪府社会福祉事業共済会との共催(後援、大阪府)による講演会を開催し、129名が参加しました。

第一部ではミュージシャンのタケカワユキヒデ氏が、第二部では、ファミリーホーム(小規模居住型児童養育事業)を運営されている石井勲氏、里親の立場から平山幸子氏が、それぞれの子育てについて語りました。



タケカワユキヒデ氏 講演の様子

●どの講師の方のお話も胸詰まる所があり、なぜか涙が出そうになります。親の愛・家庭(家族)の愛がなかなか受けられない子どもたちが身近にある事を感じてしまいました。私にも何かできる時がくれば、迷わず手を差し伸べたいと思いました。

●私は児童施設で働いているのですが、現在、思春期でトラブルを起こす園生が多くなっていると感じました。

●「お互いの大切な物を知っておくこと」「自分の常識を押しつけない」ということがとても心に響きました。

●現場で働いていると、日々時間に追われ流されがちですが、一歩、踏みとどまって考え直すことのできた講演会でした。

●なかなか減少しない虐待に、不安、悲しさを覚えます。これから大きな未来ある子どもたちの命の芽をつまないうに少しでもできることはないかと考えさせられました。



石井氏

●子育てとはお互い尊重することが大切ということを知ることができて、保育現場で、母として家庭で子どもたちと関わっていききたいと思います。

平山氏

水曜日

先日、ワールドカップ最終予選で日本がオーストラリアに1対1で引き分け、5大会連続5回目のワールドカップ出場を決めました。

試合終了間際まで1点差で負けていた日本ですが、あきらめずに最後まで戦う姿に感動した方は多いのではないのでしょうか。

そんなサッカー日本代表の良き1つとして、「チームワーク」があげられます。「チームワーク」は福祉の現場でも、特に大切であり、情報共有はもちろんのこと、多職種間で連携を取ることで、より良い支援に繋がります。

口頭から、周りの人とのコミュニケーションを心掛けてみると、新たな発見があるかもしれません。

職場奮闘記



児童養護施設 花園精舎
大仁 久美子さん

な事情により保護者と離れて生活をしており、保護者に代わって私たち保育士が日々子どもたちと一緒に生活しています。分も常に笑顔で接するつもりですが、人見知りの激しい子ども、甘え上手な子ども等、個性豊かな子どもたちにも対応しています。対応において、未熟な所もたくさんありますが、心から安心して信頼される保育士になれるように、笑顔で明るく、元気に子どもたちと一緒に生活を送りたいと思います。

常任委員名簿

(平成25年6月現在)

役職	施設種別	施設名	氏名
部会長	児童	生駒学園	竹田 功
副部会長	保育	みどり幼児園	橋田 浩史
	セルフ	ワークショップかりん	二上 英樹
常任委員		高津学園	松本 幹生
		博愛社	村上 文啓
		聖ヨハネ学園	平井 克典
		花園精舎	國井 裕
	児童	大阪水上隣保館 ひびき	山崎 深
		南河学園	横山 泰直
		東光学園	友井 秀一
		三ヶ山学園	古木 由美
		信太学園	野原 茂幸
		奈佐原寮	足立 英之
		三徳寮	大嶋 茂子
	成人	みなと寮	宮武 信行
		フローラ	新名 秀典
		ポンチセぴりか	東迎 礼紗
	セルフ	交野自立センター	日野 信行
		芝谷聖ヶ丘保育園	川畑 弘二
		たんぽぽ中条保育園	三角 寛子
		あすなろ保育園	大西 正剛
		寺内さくら保育園	富山 祐介
		三宅保育園	山唄 聖
		あい性保育園	古賀 諒
		弥刀さつき保育園	大東 将也
		貝塚南保育園	長岡 誠宏
		橋本保育所	岸田 知大
	母子	八尾母子ホーム	林 真也
		四天王寺慈田院養護老人ホーム	上田 真也
	老人	とりかい白鷺園	井上 卓司

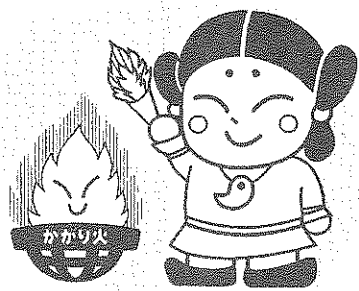
(順不同・敬称略)

従事者部会とは “大阪府社会福祉施設全従事者の会”

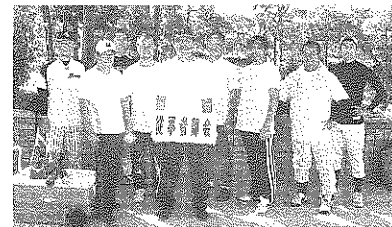
(会員施設は平成25年4月1日現在)

- ◎保育部会 599施設
民間保育園を対象とした組織。
- ◎老人施設部会 444施設
特養、養護、軽費、ケアハウスなどを対象とした組織。
- ◎成人施設部会 100施設
救護、更生、内部障害者更生、婦人保護、知的・身体障害者更生施設などを対象とした組織。
- ◎児童施設部会 74施設
児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設などを対象とした組織。
- ◎セルフ部会 114施設
授産施設を対象とした組織。
SELPとは、S=サポート(支援)、E=エンプロイメント(就労)、L=リビング(社会生活)、P=パーティシペーション(社会参加)の略。
- ◎母子施設部会 9施設
母子生活支援施設を対象とした組織。
- ◎医療施設部会 24施設
無料低額診療事業施設を対象とした組織。

四天王寺悲田院養護老人ホーム
上田 真也
四天王寺悲田院養護老人ホームは定員420名(全室個室)で、さまざまな理由により居宅での生活が困難な方が利用されています。ご利用者個々のニーズに応じた支援を行い、充実した生活を送っていただけるよう努めています。



「かがり火」キャラクター『照子ちゃん』



軟式野球大会に初出場!!

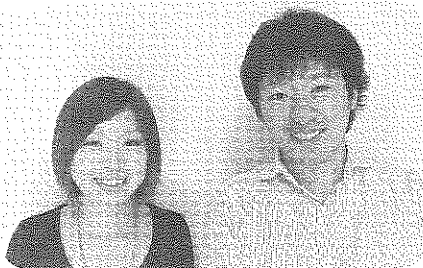
1スまでの距離

従事者部会軟式野球大会出場選手名簿

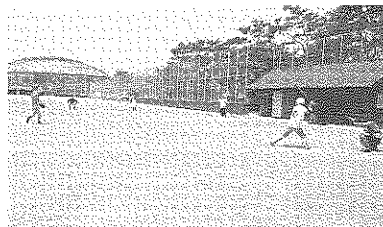
氏名	性別	所属施設名
1 竹田 功	男	生駒学園
2 坪本 隆	男	南河学園
3 黒木 健一	男	松柏学園
4 松本 幹生	男	高津学園
5 橋田 浩史	男	みどり幼児園
6 大谷 光四郎	男	河武山たつの子保育園
7 濱崎 格	男	河武山たつの子保育園
8 白井 敏敬	男	やまだい保育園
9 井上 卓司	男	とりかい白鷺園

順不同

八尾母子ホーム 林 真也
母子世帯のお母さんが生活やお子さんの養育が困難な場合等、入所して保護すると共に母子の自立促進のためにその生活を支援することを目的とした施設です。母子が楽しく安心して暮らせるよう日々取り組んでいます。



三見 尚子
長三 紘平
大阪ならでは「大阪ならでは」の歴史と伝統のある当部会に事務局として関わらせていただき、大変うれしく思っております。分野を問わず集まれる部の魅力を感じながら、先生方とともに大阪の福祉を盛り上げていけるように精一杯努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



チーム全員で、全力プレー!

チーム全員で、全力プレー!

従事者部会ソフトボールチーム名簿

氏名	性別	所属施設名
1 竹田 功	男	生駒学園
2 横山 泰直	男	南河学園
3 國井 裕	男	花園精舎
4 橋田 浩史	男	みどり幼児園
5 里村 一也	男	みどり幼児園
6 白井 敏敬	男	やまだい保育園
7 井上 卓司	男	とりかい白鷺園
8 林 真也	男	八尾母子ホーム
9 山根 陽平	男	社会福祉法人 恵生会
10 三見 尚子	女	大阪府社会福祉協議会

上位進出を企んでいたのですが、1勝後に対戦したチーム(優勝チーム)に善戦したのですが、万策尽きる感じで最終回に大量点を奪われ、予選リーグでの敗退となりました。「優勝チームには桁違いの強さがある」と感じる大会でしたが、来年は「今年の屈辱を!」の思いを胸に、大会に臨みたいと思います。

橋本保育所 岸田 知大

橋本保育所は泉州は貝塚市のちょうど真ん中にあり、海へも山へも車で15分ほどの豊かな自然に囲まれた場所にあります。私は6年ぶりに従事者部会に復活です。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

事務局紹介

三見 尚子
長三 紘平

「大阪ならでは」の歴史と伝統のある当部会に事務局として関わらせていただき、大変うれしく思っております。

平成25年度 民間共済会ソフトボール大会
「優勝するチームは桁が違う」

「従事者部会のメンバーでチームを作って、共済会ソフトボール大会に参加しよう」との思いから、毎年参加を続けています。メンバーについては当初は寄せ集めチームの感じが拭えなかったのですが、最近では徹底した勝敗に拘るチーム戦術で、相手チームには「嫌らしいチームだなあ」と恐れられる程(?)に成長しました。昨年は待望のベスト8進出を果たし、今年も

平成24年度 集団指導者養成教室

集団指導者養成教室は、介護・障がい・児童など、さまざまな分野の施設職員がともに研修に参加し、レクリエーション指導、消防・救命研修、社会教養研修など多彩な研修を通じて施設従事者の資質向上を図るという研修会です。

第1回集団指導者養成教室

「大地の詩」留岡幸助物語

6月26日、ホテルアウイナ大阪で開催され、58名が参加しました。

第一部は映画「大地の詩」留岡幸助物語の山田火砂子監督の講演会でした。苦労話、出演者とのエピソードなど、ユーモアたっぷりに紹介され、会場からも笑いが多くありました。

また、78歳になられた今でも現役で映画制作に情熱を燃やし、次回作は「この子らを世の光に」糸賀一雄物語」を撮りたいと語られ、私も福祉に携わる一人の人間として、山田監督のように強い信念をもって、明日から頑張ろうと思いました。

そんな話を聞いた後の第二部の上映会でしたので、とても新鮮な感覚で物語に入っていくことができ、あつという間に観終えた感じでした。内容は留岡幸助氏がさまざまな苦難を乗り越えて、やがては東京や北海道に家庭学校(現在という児童自立支援施設)を作っていくという物語です。

この研修を通して、福祉の源流に触れることができました。時代の流れはありますが、今も昔も共通した部分



山田火砂子監督

第2回集団指導者養成教室

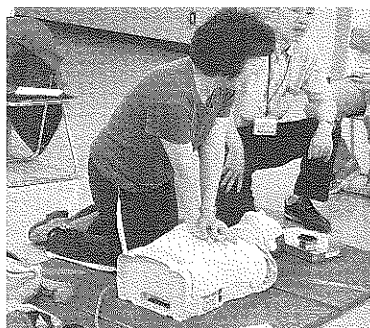
「消防訓練・普通救命講習」

毎年応募が殺到する大阪市消防学校での消防訓練・普通救命講習に今年度は、227名が参加しました。

消防訓練では消火器・屋内消火栓を使つての訓練、室内での煙発生実験、暗での移動体験を行いました。



火の怖さを実感しました



実践しながら学ぶことができました

EDを含む心肺蘇生法などを学習しました。いざという時に落ち着いて行動するために日頃から施設での訓練が必要です。この講習で学んだことを、施設に帰って職員間で共有したいです。

第3回集団指導者養成教室

「ガラスの心」

「被虐待の淵を生き抜いて」

2月14日、ホテルアウイナ大阪で開催した、第3回集団指導者養成教室には、58名が参加しました。

第一部では、株式会社イージェットの島田妙子氏から自らが体験した児童虐待の生々しいお話しと、施設で生活された当事者の方のお話を聞かせていただきました。

島田さんは継母と実父からの虐待で何度も命を落としかけたそうです。その後、施設で暮らすことになり父親がはじめて面会に来てくれたときには、「捨てられてなかった」という喜びを強く感じ、次の日から気持ちを切り替えて頑張れたという経験をお聞きました。

また、父のために、虐待を受けた継母に気に入られようと必死だったそうです。

子どもだからといって気持ちを伝えることを遠慮するのではなく、本気でぶつかり、気持ちを伝えあうことが子どものためになるというお話を聞いて、経験不足の子どもたちにとって、伝えることの大切さを実感しました。

第二部の当事者の方のご兄弟に対するお話には、心を打たれました。兄弟助け合って生活されている姿は私の担当する子どもにも重なるところがあり、子どもの気持ちも教えていただいた気がしました。

この講演を聞き、気持ちを新たに子どもたちのために頑張ろうと思いました。ありがとうございました。



島田妙子氏

新常任委員紹介

博愛社 村上 文啓



児童養護施設博愛社は、大阪市北部の十三にあり、現在は127名の子どもたちが生活しています。昨年に完成した新館では、児童の養育をユニットケアとし、小集団化・少人数化を図った中での支援を行っています。

奈佐原寮 足立 英之



奈佐原寮は、高槻市にある定員30名の大阪府内で最も小さな規模の児童養護施設です。家庭的な雰囲気を実感しながら、現在5歳から17歳までの子どもたち23名が生活しており、子どもたちの援助を日々行っております。

交野自立センター 日野 信行



今年度から従事者部会に参加させていただきます。障がい者の通所施設で、地域の企業からの下請け作業（軽作業、名刺や封筒の製作）の他、紙すきやビーズなどの自主製品の製造販売を、利用者の方々とともに工賃アップを目指し取り組んでいます。

三宝保育園 山嵜 聖



三宝保育園では、ひとりひとりの子どもがゆったりと仲間と生活をしながら、素直に自分を表現し、子どもも大人もともに育ちあえる保育園づくりを保護者の皆様と地域社会とともに一緒に創造することを目指しています。

三ヶ山学園 古木 由美



今年度から、従事者部会に参加させていただくことになりました古木です。子どもたちから「出逢えてよかった」と言ってもらえるような人間でありたいと思っています。よろしくお願いします。

三徳寮 大嶋 茂子



三徳寮は、大阪市内にある成人男子を対象とした救護施設です。自立心を育み、利用者が主体的に自己実現が図れるよう、個々のニーズに応じた「ここに響くサ―ビス」を行います。

芝谷聖ヶ丘保育園 川畑 弘二



芝谷聖ヶ丘保育園は子育て支援センターや病後児保育など、多様な子育て支援に取り組んでいます。また、「清く正しく明るく強く」の保育目標のもと、園児たちは園内の温水プールで楽しく体力作りを行っています。

弥刀さつき保育園 大東 将也



弥刀さつき保育園は今年創立30周年を迎えました。一番大切な乳幼児期を心地よい環境の中で、心も体も健やかに育つように保護者の皆様と一緒に考え、保育に取り組んでいます。

信太学園 野原 茂幸



今年度から、信太学園に異動になりました野原です。初めてですが従事者部会に参加できる喜びを感じています。多様な福祉現場の先生方との交流を活かし日々の実践に役立てていきます。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

ポンチセびりか 東迎 礼紗



大阪市東住吉区にある障がい福祉サービス事業所です。パンの製造・販売、軽作業を中心に利用者への支援を行い、地域に開かれた施設づくりを目指しております。私は今年度からの参加です。よろしくお願いいたします。

寺内さくら保育園 富田 祐介



寺内さくら保育園は、守口市から民間委託を受け、今年で10周年を迎えます。平成24年9月に新園舎が完成し、『簡単なことを正確に』を大方針として心身ともに健やかに成長できるよう職員一同、毎日の保育にあたっています。

貝塚南保育園 長岡 誠宏



当保育園は、大阪府南部泉州地域の中程にあり創立39年目。児童館を併設し学童保育・子育て支援センター事業にも取り組み地域に根ざした施設を目指しております。心・やる気・元気が育つ子どものお家として明るく元気がモットーの保育園です。

リーダー養成研修

平成24年度から、新規事業としてリーダー養成研修を開催。7月4日～5日、大阪市立信太山野外活動センターで実施したところ、34名の方が参加されました。従事者部会リーダー研修に参加させていただきました。はじめのレクリエーションの講義では、キャンプやバス内子どもたちが楽しく参加できるレクを教わり、早速その年のキャンプで実践したところ、大盛り上がりで子どもたち皆喜んでいました。



あっという間の二日間でした

また、トランプマジックや大道芸師のMr.オクチさんからはバルーンアートを学びました。

オクチさんの大道芸を生で観ることができて、なかなか体験できない貴重な時間を過ごせました。現在、子どもたちの前で披露すると、どれも人気が高く大変喜ばれるので重宝しています。

他には、グループになってスタンツの発表やカラー作りも行いました。雨天のためキャンプファイヤーは中止になり残念でしたが、他施設職員との交流も一気に広がり、互いに意識を高め合い支え合い、現在の仕事の励みになっていきます。



イヌやウサギを作りました

コミュニケーションスキルアップ 泊研修

若手職員向けのコミュニケーションスキルアップ泊研修には10月24日～25日、23名の職員が、大阪市立信太山野外活動センターに集いました。

どこで働いても職場の環境は大切だと思います。その中で、コミュニケーションは非常に大切な役割があると考え、今回参加しました。

研修では、コミュニケーションに必要な共通概念があることや話し合いをスムーズに進める方法を学びました。今回の研修だけでは、コミュニケーション

ン能力を向上することは難しいですが、その能力を上げるためには、何が大切なのか、能力を向上していくきっかけを作ることができました。また、新人職員向けの研修なので、新人職員同士で共感できる話をするのができました。

誰もが悩みを抱えていることを知り、「私も悩みながらでも努力していこう」といい刺激を受けました。



二日間お疲れ様でした

平成24年度

従事者部会人権研修

「3月11日を生きて」

3月11日、従事者部会の人権研修を大阪府社会福祉施設人権活動推進協議会との共催で行ない、会場となった大阪国際交流センターには132名の参加者が集まりました。

第一部では、東日本大震災で被災14校、死亡・行方不明の児童186人という大きな被害を受けた石巻市の小学校、その中で石巻市立門脇小学校の児童、教師、保護者のインタビューを通して、「人は3月11日をどのように生きたか」をテーマに制作されたドキュメンタリー映画『3月11日を生きて』石巻・門脇小・人びと・ことば』を上映。

第二部では、坂本キツチンスタジオの坂本廣子氏より『震災から家族を守る』

『日常』から「災害の被害を防ぐ知恵」をテーマに自身の体験を踏まえて、日頃からできる防災方法、非常時のさまざまな工夫を講演されました。

東日本大震災から2年、被災地の方々は未だ避難生活が続く中で多くの困難に苦しんでおられます。災害はいつどこでも起こりうるものです。今回の研修を通じて災害に遭った時、被害を最小限に抑え、施設利用者、家族または自らの命を守るために活かす方法を知る貴重な時間になりました。



坂本廣子氏

従事者部会常任委員宿泊研修

1月28日、29日と京都府城陽市にある社会福祉法人南山城学園の障がい者支援施設「円」和「魁」を施設見学しました。

南山城学園は、昭和40年から障がい者の方々に対して、就労から生活面までと総合的な支援活動に取り組まれておられます。

利用者の方々が取り組まれている作業も多種で、意義な研修となりました。



南山城学園前にて